

平成 30 年度秋の交通安全運動推進要綱

平成 30 年 8 月 7 日
建設廃棄物協同組合

第 1 目 的

本運動は、組合員に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

第 2 期 間

平成 30 年 9 月 21 日（金）～30 日（日）までの 10 日間

第 3 運動重点

秋の交通安全運動では、少子高齢化が進む中、時代を担う子どものかけがえのない命を社会全体で交通事故から守ることが重要であるにもかかわらず、通学中の児童が多数死傷する交通事故が発生するなど、依然として道路において子どもが危険にさらされていること、また、高齢者の交通事故死者数が交通事故死者数全体の半数以上を占め、その減少が強く求められていることから、これらの交通情勢に的確に対処するため、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本とします。

一方、組合員の交通事故においては昨年度に実施しました「交通事故に関するアンケートの集計結果について」を参考に注意喚起を行ってください。

昨年度は、人身事故の発生件数は減少傾向にあるものの、安全確認不足による接触事故は多く発生していることから、車両移動開始時の目視確認を重点におき、次の 3 点を運動重点とします。

- 1 子どもや高齢者等の交通弱者に対する保護
- 2 追突、逆突事故の撲滅
- 3 運転開始時の指差し安全確認の徹底

第 4 運動重点に関する主な推進項目

- 1 通学路等における幼児・児童の安全な通行の確保
- 2 子どもと高齢者に対する思いやりのある運転の促進
- 3 夕暮れ時における自動車の前照灯の早め点灯の励行
- 4 運転中はスマートフォン等の操作の禁止
- 5 黄色信号は止まれ
- 6 一時停止の徹底
- 7 安全確認の徹底
- 8 「だろろ運転」から「かもしれない運転」へ
- 9 始業前点検の実施
- 10 適正な車間距離の維持

第5 運動の実施要領

運動の実施に当たっては、組合ではチラシを作成し組合員へ全運搬車両配布します。

組合員は期間中チラシを全車両フロントガラスに掲げ、裏面は運転手に毎日読むよう指導し推進項目の徹底を図ってください。

第6 評価の実施

運動終了後にその効果の評価を行い、実施結果を的確に把握することにより、次回以降の運動がより効果的に実施されるよう施策の検証に努めるものとします。